

第6回 前近代歴史地震史料研究会

主催：新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ、科研基盤研究B「前近代における巨大地震の家屋倒壊率と死亡者数の研究」研究グループ、科研挑戦的研究（萌芽）「16世紀末から18世紀前半の内陸地震研究」研究グループ

2018年11月3日（土・祝日） 12:10～17:20 受付開始11:30

会場：新潟大学総合教育研究棟D棟1階大会議室

研究発表会日程

12:10～13:30 口頭発表

- 原田和彦 1854年安政東海地震（嘉永の東海地震）と信濃の被害
堀 健彦 1854年南海地震による大阪湾岸における津波被害を描いた瓦版絵図について
西山昭仁 1854年安政南海地震における豊後国・日向国での家屋被害について
村岸 純 学校資料にみる関東大震災

13:40～14:40 口頭発表

- 蝦名裕一・今井健太郎 地形復元にみる1804年象潟地震の被害状況—関村を事例として—
矢田俊文 享保3年伊那・三河地震と『月堂見聞集』
佐藤善輝・小野映介
九十九里浜平野における1703年元禄関東地震の津波堆積物に関する調査結果

14:50～15:10 ポスター発表

- 原田和彦 支配階層別にみた地震情報の収集について

15:10～16:10 口頭発表

- 谷口 央 伊豆大島の災害と死者数の関係—近世期過去帳の統計から—
原田智也・西山昭仁 1611年慶長の三陸地震の再考
松岡 祐也 文禄5年地震による淡路国の被害と『淡路草』の地震記述の検討

16:20～17:20 口頭発表

- 西尾和美 康安元年（1361）地震とその史料
片桐昭彦 年代記にみる中世後期の地震
齋藤瑞穂 警固断層の考古学的研究事始

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2-8050 新潟大学人文学部

TEL: 025-262-6542 MAIL: yata@human.niigata-u.ac.jp